

§ 9. 上部構造の評点 (Qd/Qr)

階	方向	壁・柱の耐力合計 Qw(kN)	剛性率 F _s	偏心率 床仕様 F _e	保有する耐力 edQu(kN)	必要耐力 Q _r (kN)	上部構造 評点 edQu/Qr	上部構造 評点 採用値
2階	X方向							
	Y方向							
1階	X方向	88.65	1.00	1.00	88.65	58.45	1.51	●
	Y方向	92.36	1.00	1.00	92.36	58.45	1.58	

※●は全評点の最小値を示す。

§ 10. 総合評価

上部構造評点	評点		判定
1.51	●	1.5以上	◎倒壊しない
		1.0以上～1.5未満	○一応倒壊しない
		0.7以上～1.0未満	△倒壊する可能性がある
		0.7未満	×倒壊する可能性が高い

その他に、以下の部位が大きく壊れる可能性があります。

部 位	箇 所 など
() ①地盤の崩壊等	
() ②基礎の損傷・亀裂等	
() ③水平構面(床や屋根)の損傷	
() ④横架材接合部の外れ	
() ⑤屋根葺き材の落下	
() ⑥柱の折損	

【各部の評価】

項 目	評 価
偏 心 Fe	1.00
評 点 edQu/Qr	1.51

<その他注意事項>

補強は外壁にt=9以上の構造用合板をN50のくぎ打ち4周@150にて全壁を補強する。
間仕切り壁も同様にt=9以上の構造用合板をN50のくぎ打ち4周@150にて補強する。

東西の斜め外壁は内側の垂直壁に補強の構造用合板を取り付け、耐力壁を新設する。

基礎は所見にて健全であるので、そのままとする。

柱の柱頭柱脚金物は安全をみて、別図の金物にて補強する。